

情報ネット交換会を本格運用

再開発ビル活性化NW

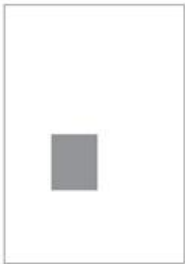


再開発ビル活性化ネットワーク（藤山正道理事長）は29日に会見を開き、2018年度（18年9月1日～19年8月31日）の事業計画を説明した。18年2月から試験運用を開始している全国商業施設運営管理情報ネット交換会（情ネット会）について藤山理事長は一定の評価を与えたものの、課題も多し、「改善を図りながら本格的に運用していきたい」と話した。

＝写真＝

情ネット会は、商業施設の運営管理について、会員相互の質問、相談、回答を行うインターネットサービス。ショッピングセンターを中心にまちづくり協議会やビル管理組合など42社が会員として参加し、これまで電子会議室を活用して7項目のテーマについて意見が交わされている。

藤山理事長は「災害対応などは熱心な議論が交わされたが、そのほかはあまり活発ではなかった。書き込む人が各社の担当者に限られているのではないか。もっと幅広い参加を促したい」と話した。また、参加団体を増やすため、資格を緩和することも検討する考えだ。



建設通信新聞

2019年01月31日 013面 01版 No.08